



仮設住宅で住民と一緒に「お茶」 ビハーラ北豊 長崎皿うどんの炊き出しが好評

ビハーラ^{ほっぼう}北豊（水内大澄代表）は9月30日から2日間、宮城県名取市の仮設住宅で炊き出しをはじめとした盛りだくさんの活動を行い、住民から大変喜ばれた。

美田園第1仮設住宅では長崎皿うどん200食を準備。「初めて食べた。とてもおいしい」「遠く九州から来てもらい、感謝に尽きる」といった喜びの感想が相次いだ。また、集会所では抹茶やジュースなどを振る舞うお茶会を開き、東北教区災害ボランティアセンターのスタッフと共に、お茶を飲みながら住民の声に耳を傾けた（写真）。また、プロの整体師によるマッサージや子どもたちのワークショップ、夜にはライブコンサートを行うなど、盛りだくさんの活動で住民らと交流を深めた。仮設住宅の愛島宿舎でも同様の活動を実施した。

ビハーラ北豊の10人は、車で片道1400キロを走破しての活動だったが、疲れも見せず東北を後にした。